

(シラバスNo.15)

科 目 名	キャリア教育特論	科目コード	24P-C3	
		科目群名	専門科目 (C 群)	
	Advanced Seminar on Career Education	必修／選択	選択	
		教職	小・中・高	
担当教員	古川 潔	単位数	2	

【実務内容（実務家教員の場合）】

学校現場で生徒のキャリア教育を推進した経験のある教員が、キャリア教育の推進者として必要な知識やスキルについて実践的に指導する。

【授業概要】

本授業では、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」としてのキャリア発達を支えるキャリア教育について扱う。

小・中・高等学校における学級・クラス・学校全体としてのキャリア教育のあり方について学び、キャリア教育の推進者としての知識やスキルを習得する。キャリア発達に関する、ドナルド・スーパーやジョン・ホランド等の理論や中・高校生のキャリア発達に関する研究、キャリア教育の実践例などを取り上げ上の指針を明らかにしていく。

キャリア教育のあり方とそのゴールについては、現代社会における労働問題、若者が直面する社会的課題も踏まえた、学校と社会の接続のありかた、学校教育の目的等についても取り上げ、長期的視点に立って理解を深める。

キャリア及びカウンセリングの理論を土台として、実践上の課題を理解することで、教職等に携わる高度の専門職業人としての高い倫理観や国際的な視野等を獲得する実践上の指針を獲得する。各回の授業では、受講者による発表、質疑や議論を行い、理論と実践についての理解を深める。授業内容等については、受講者の希望等に即して重点化を行うが、全体を通して授業計画にある内容を扱う。

【授業の到達目標】

本授業では効果的なキャリア教育（学校としての組織的なキャリア教育、各教員の行う個別的なキャリアカウンセリング）の実施に必要な理論及び方法を実践的に理解することを目標にしている。

そのために各種の理論を取り上げるとともに、校種別にキャリア支援を具体的に展開する方法等を身につける。

【授業の形態】

メディア授業の実施【あり】

<授業の特徴>（主に実施に◎、実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	◎	各授業回の議論に必要な知識・情報等について講義
グループワーク・質疑	○	受講者全員による各授業回テーマの議論
演習		
プレゼンテーション	◎	各授業回で受講者による発表
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	ガイダンスーキャリア教育とは何か
2	キャリア教育とキャリアカウンセリングの概要
3	キャリア教育と能力観

4	キャリア理論(1)
5	キャリア理論(2)
6	発達段階に応じたキャリア教育
7	就学前から小学生のキャリア教育
8	中学生・高校生のキャリア教育
9	社会人に対するキャリア支援
10	キャリア教育と地域環境
11	多様化とキャリアデザイン
12	キャリア支援に生かすカウンセリングの理論(1)
13	キャリア支援に生かすカウンセリングの理論(2)
14	ダイバーシティ&インクルージョンとキャリア教育
15	課題発表とまとめ
試験	
【履修上にあたっての準備】 授業内容に関わる受講者自身の問題関心や体験・経験について整理しておくこと。	
【授業外学修（予習・復習）】 授業内で決定する課題発表の準備を行うこと。各授業後には、レポート試験を見据え、発表や授業の内容についてまとめておくこと。	
【評価方法】 レポート試験（30%）、課題発表とそのまとめの提出（50%）、授業内課題（コメントシート）（20%）で判定する。	
【教科書】 なし（必要に応じて資料を配布する） ※文部科学省のホームページに小学校から中学校までの「キャリア教育の手引き」が掲載されています。 2011年版の第1章第1節「キャリア教育の必要性和意義」に目を通しておくことをお勧めします。 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1312372.htm	
【参考図書】 ・児美川孝一郎(2023)『キャリア教育がわかる 実践をデザインするための〈基礎・基本〉』誠信書房 ISBN 9784414202236 ・佐藤史人・伊藤一雄・佐々木英一・堀内達夫編著(2018)『新時代のキャリア教育と職業指導——免許法改定に対応して』法律文化社 ISBN 9784589039538 ・金井 壽宏(2002)『働くひとのためのキャリア・デザイン』PHP新書 ISBN 456961941X ・学習指導要領及び解説（小学校・中学校・高等学校）：文部科学省 ・生徒指導提要（改訂版）：文部科学省 その他、授業内でも関連図書を紹介する。	